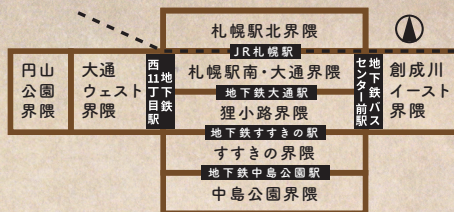


SAPPORO ぶらり手帖



「SAPPOROぶらり手帖」は、札幌市内の観光関連事業に従事するメンバーが、サッポロコンシェルジュという名のもとに集まり、ワークショップを行ったり、エリアごとのグループに分かれて何度もディスカッションを重ね、実際にまち歩きをしながら、旅人になった気持ちであらためて自分たちの街の魅力を探り、半年間かけてつくりあげたものです。「SAPPOROぶらり手帖」は、札幌に住んで初めてわかるような魅力的な場所やお店をベースに、ワクワクしながら歩いてもっと札幌を好きになってほしいと考えながらコースを組みました。定番とはまた違った札幌の新たな魅力を楽しんでください。

サッポロコンシェルジュ

ポロコンとは

サッポロコンシェルジュでは、ぶらり手帖で紹介している札幌中心部の8つの界隈を案内する「ポロコンまち歩きガイド」のサービスを提供しています。

ぶらり手帖で紹介しているおすすめのおまち歩きコースはもちろん、季節や天候に応じたまち歩きコースやお客さまに合わせたまち歩きコースを、隠れた物語と合わせてご紹介します。



porocon.jp



監修：札幌市

アドバイザー：大下茂（帝京大学教授）、阿部佳（明海大学教授）、
和田哲、藤崎達也、小西由稀、大山 幸彦

事務局・コーディネート：株式会社 GLOCAL DESIGN SAPPORO



別冊 ぶらり手帖 | 歩いてGO! | Ver.1 A グリッド都市札幌編

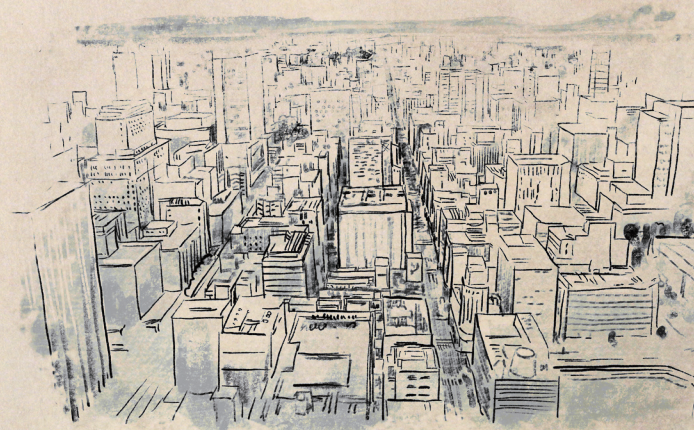
SAPPORO ぶらり手帖



歩いてGO!

SAPPORO まち歩きコース

観光業界人の
地元推しスポット



A グリッド都市札幌編

歩いて GO !

まち歩きコース

A グリッド都市札幌編

碁盤の目と、雨でも雪でも楽しめる地下空間

札幌は「碁盤の目」と言われるように、道路が直線で整備された街並みが特徴です。

札幌駅前から南へおよそ 2km 先の中島公園までつながる直線の札幌駅前通や、

北 3 条広場から見る事が出来る景色は札幌ならではの。

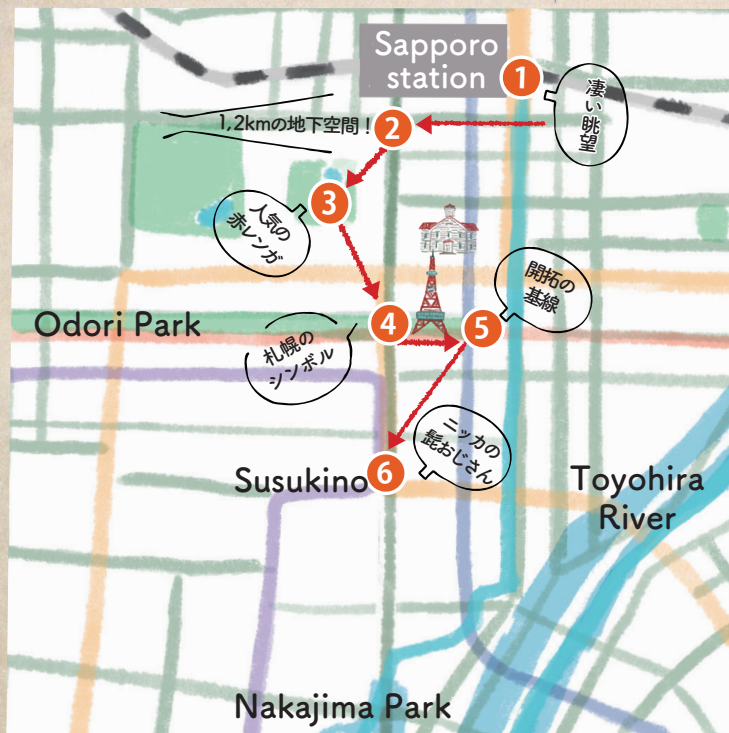
また、札幌のまっすぐな街並みを見下ろす事が出来る、

JR タワー展望室 T38 やさっぽろテレビ塔といった場所があり、

時間によっては札幌市役所 19 階展望室といった隠れスポットも存在します。

雨や雪が降った時でも、札幌駅から大通公園、すすきのまでまっすぐのびる地下空間

間を利用することで快適に札幌の都心を楽しむことが出来ます。



1 JR タワー展望室 T38

グリッド都市を感じるまち歩きコースのスタートはここから。晴れていれば遠く西側に小樽を望むことができ、東側には遠く石狩川や野幌原始林のみどりを望むことができます。もう少し視線を落とすと、まっすぐな道路がのびているグリッド状の札幌の都心が広がっています。夜になるとまっすぐのびた道路の灯りが印象的な夜景を創り出していておすすめです。



2 札幌駅からすすきのまでの地下歩道

札幌駅から中島公園までまっすぐのびる都心の軸となる札幌駅前通があり、その距離は 2.3km もあります。駅から南に歩けば沿道にはオフィス街、北 3 条広場と赤れんが庁舎が右手にあります。大通公園を超えると賑やかな商業エリアとなり、さらに歓楽街のすすきのに到着します。札幌駅前通の地下には、市民から「チカホ」と呼ばれている札幌駅前通地下歩行空間があり、すすきのまでまっすぐ雨や雪の日でも快適に歩くことができます。



3 北海道庁旧本庁舎・札幌市北 3 条広場 (アカプラ)

札幌駅から駅前通を大通公園に向かって歩くと右手に「赤れんが庁舎」の愛称で知られる北海道庁旧本庁舎が目に入ります。開拓使のシンボルであり、国の重要文化財です。その手前に広がる北 3 条広場 (アカプラ) は、イチョウ並木の下オープンカフェでゆっくりと時間を過ごしたり、アートや音楽イベント、マルシェなどを楽しむこともできます。イチョウ並木が色づく秋やイルミネーションに飾られた冬の景観もおおすすめです。



4 大通公園

札幌のシンボルとも言える大通公園は、開拓使が置かれた明治時代に北側の官庁街 (札幌駅側) と、南側の住宅・商業街 (すすきの側) とを隔てる大規模な火防線が作られたのが始まりです。大通公園では、ライラック祭りやビアガーデン、オータムフェスト、雪まつりなど年間を通してイベントが行われ賑わいます。1 丁目には札幌のランドマークである「さっぽろテレビ塔」があり、その展望台に上がり一望すると札幌の中心部がグリッド状になっていることを体感できます。



5 創成川散策路・創成橋

札幌駅前通を約 500m 東側に向かって歩くと札幌を東西に分ける創成川があります。札幌の住所の東〇丁目や西〇丁目は創成川が基線となっています。つまり東西のグリッドの基線です。創成川は、江戸時代に「大友堀」としてつくられた人工の河川で開拓が始まったときに創成川と改名されました。開拓時代の創成川は札幌中心部に物資を運ぶための舟運に利用されており、その終点だった創成橋のあたりに商店や旅館が立ち始めて、今の二条市場や狸小路に発展していきました。



6 すすきの交差点

北関東以北最大の歓楽街と言われるすすきの。明治政府がつくった遊廓から始まったすすきのは、札幌の経済の発展とともに歓楽街として繁栄してきました。歓楽街としてのイメージが強いすすきのは、実は札幌の寺町という側面もあり、昼間はお経が聞こえるまちであり、お寺を巡ることもできます。



SAPPORO
ぶらり手帖